

日本語を母語としない子どもたちとともに

JSL 日本語指導教育研究会通信

JSL (=Japanese as a second language)

令和3年2月 第5号

発行者 会長 熊本 修治

日本語指導教育研究会 事務局

第6回研修会 オンライン開催

全体研修2 第5回小中部会

城浜小学校 早田浩二先生 下條道子先生 城香中学校 日高美和先生 春吉中学校 薄里美先生

小学校部会では「語彙を増やす指導の工夫」について、先生方の取り組みを発表していただきました。

市販の教材はもちろんのこと、自作の教材やクロムブックを使って充実した指導が各学校で行われていました。

中学校部会では、各係の進捗状況や年間を通しての反省を共有することができました。

- 言葉は「仲間」で増やしていくと良いことがわかりました。子どもが知っていたり興味を持っていたりする言葉の周辺から語彙を増やしていけるといいなと思います。
- 市販のものを有効に使いながら、児童に応じた言葉学習をさせたいと思います。
- 年間を通して、中学校の問題を話しあえて、良かったです。

テーマ「語彙を増やす工夫」の実践例

- ・ゲームを通して、遊びの中で使える日本語を話す練習をする。
- ・いろいろな種類のカルタ遊びを通して語彙を増やす。「ことばプリント」の練習プリントで。
- ・言葉を使いたい時に、すぐに使える環境を。語彙カードやAUカードを持たせる。
- ・覚えた言葉を箱に入れて、語彙を増やしていくコトバンクを使った。
- ・パズル遊び。ジャムボードで連想ゲーム。
- ・「やってみよう日本語」のテキストとワークシートで。YouTubeの動画。しりとりで、出てこないときは言葉絵辞典を使って。
- ・言葉の入らない子には、YouTubeの動画などで。今学習している教科の中から語彙の指導を。
- ・「人気職業ランキング」で語彙の指導。「～師」、「～家」等をまとめて指導する。
- ・母語で本を読んで母語の語彙を増やすことで、日本語の語彙を増やす。仲間ことばを増やす。市販の言葉カードを使って。反対言葉やイラスト工房（動詞）など。
- ・「昔話を読もう」で、YouTubeの動画を見せ解説しながら内容理解。
- ・「単語マッチング」カード。デパート＝服 など
- ・毎時間の終わりに、「今日の言葉、今日の文」を書かせて積み重ね。自分でも振り返る。
- ・母語と日本語の対訳ノートを作成させる。
- ・作文を書く際に「類語辞典」を見せて、仲間の言葉も教える。
- ・「説明の基本フレーズ」等の練習問題集を使って。
- ・「ことばのくんれん」ソフトを使って。2003年の特別支援用の有料ソフト。
- ・「鉛筆しりとり」で書きながらしりとりをする。名詞だけしか使えない。表記の練習。
- ・漢字指導を語彙指導として。知らない言葉が多いから、漢字指導の中でも。
- ・量ではなく、必要感を持たせて記憶させる。いろいろな学習と組み合わせて。いろいろな方法があるので参考にして。